

図書館だより

目次

データベースの上手な使い方	1
インフォメーション	2

データベースの上手な使い方

田中 速 (応用心理学部臨床心理学科 教授)

中学や高校までとは違って、大学の勉強では自分から情報を集めることを求められるようになります。大学のゼミでは「〇〇について調べて発表しましょう」のような課題がよくあります。自分で情報を調べる方法を身につけると、社会に出てからも様々な問題を解決する時に役立ちますし、一生を通じて自分で勉強し続けることもできるようになるからです。さて皆さんは調べものをする時には、まずインターネットで検索エンジンを使うでしょう。でも単純に検索エンジンを使っただけでは、なかなか目的の情報が見つけれられないことがあります。どうすれば必要な情報を見つけられるのでしょうか。私のゼミでの会話をもとにして説明します。私の専門分野の一つである「犯罪心理学」の中から例題を取り上げます。半分くらいは実話です。

学術情報データベースを使おう

教員 T (以下 T)「日本の矯正施設でも性犯罪者に対する再犯予防への取り組みが始まっています。どのようなことが行われていて、その成果はどうか調べてください。」
学生 S (以下 S)「『性犯罪』と『再犯予防』でネットで検索すればいいのかな。(Google を開いて検索…)」
新聞記事がいっぱい出てきました。新聞社によって効果があるとかないとか、かなり論調が違います。まとめサイトの記事も出てきますが、ちょっとふざけた内容のものも混じっています。これではよくわかりません。」
T「Google や Bing で調べるとそうなるんですよ。こういう時は CiNii を使しましょう。」

Google や Bing などの汎用の検索エンジンは、幅広い興味を持つ一般の人向けにインターネット上の記事を集集・整理しています。ですから新聞社や大手ニュースサイトの記事は上位に表示されるのに、専門的な学術情報はなかなか表示されないことがあります。学術情報の検索には国立情報学研究所の CiNii (<http://ci.nii.ac.jp>)を使うと便利です。CiNii には国内の学術的な図書や論文の多くが収録されています。また、今年度から本学の図書館では医中誌 WEB (<http://login.jamas.or.jp>)の利用を始めました。医学や臨床心理学の文献では CiNii には登録されていない医中誌 WEB で見つかることもよくあります。

検索するときは専門用語をキーワードに使おう

S「そんなサイトがあるんですね。CiNii を使ってみます。あれ?『性犯罪』『再犯予防』で検索したのにほとんど文献が出てきません。どうしてですか?」
T「キーワードを変えてみたらどうでしょう。『再犯予防』

のかわりに『治療』とか。矯正関係では『処遇』と言うこともありますね。」

S「『性犯罪』と『処遇』で検索したらいっぱい論文でできました!」

Google などの一般的な検索エンジンには、入力したキーワードからこちらが検索したい情報を推測してくれる仕組みがあります。名古屋で「暇つぶし」をする場所を探すつもりで「名古屋 ひまつぶし」と検索すると、気を利かせて(?)名古屋の「ひつまぶし」のお店が出てくるようなことがあります。検索エンジンは『ひつまぶし』は『ひつまぶし』の間違いだろうと推測するのです。しかし CiNii や医中誌 WEB のような学術系のデータベースではそんな気は利かせてくれません。論文のタイトルやキーワードとして登録されている単語を使わなければ、期待している検索結果は得られません。学術系のデータベースを使う時には、その分野の専門用語で検索する必要があります。

図書館で雑誌を探そう

S「この論文は参考になりそうですね。ダウンロードしておきます。あ、これも関係ありそうですね。『犯罪者処遇におけるポジティブ心理学的アプローチの可能性：性犯罪者処遇の動向からの考察』この論文は CiNii からはダウンロードできないんですけど、どうしたらいいですか?」
T「下のところに『犯罪心理学研究 52(2), 35-47, 2015』って書いてありますね。それは書誌情報と言って文献を特定する情報です。どこで手に入るのか調べてみましょう。まずはうちの図書館の OPAC を探してみよう。」
S「『犯罪心理学研究』はこの図書館に置いてあるんですね。コピーしてきます。ところで『52(2), 35-47, 2015』ってどういう意味ですか?」
T「2015 年に出版された 52 巻 2 号の 35 から 47 頁、という意味です。」

本文全体が CiNii から読めるようになっている論文もあれば、そうでないものもあります。その場合は書誌情報を手かりに図書館でその論文の載っている雑誌を探すこととなります。本学の図書館の蔵書は十条台キャンパス図書館 OPAC (<http://www.tsc.ac.jp/library/search/opac.html>) で調べることができます。本学の図書館にない雑誌の論文でも、図書館のレファレンスサービスに依頼すれば他大学の図書館からコピーを取り寄せてもらうことができます。届くまで 1~2 週間程度かかり、コピー代や送料などは自己負担です。

(次頁へつづく)

官公庁の情報を探そう

S「性犯罪者の処遇プログラムを実施しているのは法務省の矯正局なんですよ。法務省の報告書みたいなのはないのでしょうか」

T「いいところに気がつきましたね。たしか法務省は何年か前に処遇プログラムの報告書を出してましたし、最近の犯罪白書で性犯罪関連の特集を組んでましたよ。Google で site:moj.go.jp と入れた後に『性犯罪者』のキーワードで検索してみましょう。」

S「あ、出てきました。平成 18 年の『性犯罪者処遇プログラム研究会報告書』がそうですよね。あと去年の犯罪白書の特集は『性犯罪者の実態と再犯防止』です。プログラムの説明や再犯率の数字が出てます。平成 24 年にも法務省矯正局が『刑事施設における性犯罪者処遇プログラム受講者の再犯等に関する分析』って報告書を出してます。役所の報告書でもいろんなことがわかるんですね。」

官公庁は膨大な量の文書を作成し公開しています。その中には私たちの勉強に役立つようなものもたくさんあります。

メンタルヘルスや保育、児童福祉に関連することなら厚生労働省(mhlw.go.jp)、犯罪者処遇なら法務省(moj.go.jp)、教育ならば文部科学省(mext.go.jp)のサイトで検索してみると、その分野で行政がどのような仕事をして、その成果はどのようなものかわかる資料が見つかるでしょう。

Google ならば検索欄に site:[官公庁のドメイン名]に続けて検索したいキーワードを入れると、その官公庁のサイトにある資料を検索できます。

網羅的に文献を調べるにはデータベースでの検索が便利です。しかし、データベースは検索して得られた情報の意味や、情報どうしのつながりまでは説明してはくれません。教員はそれぞれの専門分野で何十年も仕事をしています。公刊されてはいないインフォーマルな情報も知っているかもしれません。外部の研究者との個人的なつながりもあるでしょう。検索で出てきた文献をしっかりと理解したい、もっと深く勉強したいと思ったら教員に相談するのが一番です。どの教員も親切に教えてくれますので、遠慮なくお尋ねください。一緒に勉強しましょう。

Information

開館スケジュール

* 変更される場合があります。HP や掲示板をご確認下さい。

8:50~21:50							8:50~17:50							休館						
1 月							2 月							3 月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
						1			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			

春季休業中の貸出について

在学生の方へ

在学生への貸出は、通常通りとなります。但し、3月は以下のとおり特別長期貸出を実施いたします。

- 実施期間：2017年3月1日（水）～3月24日（金）
- 返却期限：2017年4月8日（土）

延滞図書のある方は、ペナルティとして延滞日数分だけ貸出停止となります。他の利用希望者の迷惑にもなりますので、至急返却してください！

卒業予定者（短大2年生、大学4年生）の方へ

卒業予定者への貸出は、2月27日（月）が最終返却日となります。忘れずに当日までにご返却下さい。

